

令和8年度

徳島市佐古小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○学習指導法の創意工夫を行い、「わかる」授業を実践する。
○進んで問題を解決したり、自分の考えを表現したりする力を育てる。

校長

熊井 美樹

学力向上推進員

板東敬子 赤澤智子

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○昨年度の県ステップアップテストや全国学力・学習状況調査では平均正答率が県・全国平均以上であり、基礎的・基本的な知識・技能は概ね身に付いている児童が多い。 ●算数より国語の方が正答率が低く、文章読解力に課題が見られる。そのため、文章問題の題意を正しく読み取り、求めることや式を導き出すことが難しい児童もあり、学力に個人差・学年差が見られる。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。 ・話の内容を正確に聞き取り、自分の考えを伝えることができる。 ・正しく文章を読んだり書いたりできる。 ・タブレットを活用し、調べ学習をしたり復習問題をしたりすることができる。	・教材教具や板書などを工夫し「わかる授業」を行うことにより、基礎的・基本的な内容の定着を図る。 ・何が書かれているかを捉えさせるため、教科書にアンダーラインを入れさせる。 ・タブレットを活用した個別最適学習を実践する。 ・スキルアップタイムを計画的に工夫して行い、家庭と連携して家庭学習を支援する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○相手を意識した手紙や作文、行事や集会の感想などにおいて、文章表現力に優れている児童が多い。 ●自分の考えや思いを筋道を立てて説明したり、友達の考えと自分の考えを比較・関連付けて理解・表現したりすることに課題がある。	・読み取ったことやそれに基づいて考えたことを、目的や条件に応じて話したり書いたりすることができる。 ・友達との意見や考えの交流を通して学びを深め、自分の考えや思いを表現することができる。	・発表ナビ(話型)を活用し、表現の仕方を身につけさせる。 ・少人数での話し合い活動を積極的に取り入れ、根拠を明確にして考えを伝え合ったり、共通点や相違点を見付けながら考えを聞いたりするよう意識づける。 ・意見の共有や情報・思考の整理に、タブレットやホワイトボードを効果的に活用する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題については真面目に取り組む、最後までやり遂げようとする児童が多い。 ●分からないことや疑問に思ったことを自分で調べたり、わかるまで追求したりしようとする意欲が乏しい児童がいる。	・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・興味のあることを進んで調べたり、自ら課題を設定して自主学習や読書活動に取り組んだり、タブレットを活用したりすることができる。	・授業内容を工夫したり、体験的な活動を授業に多く取り入れたりする。 ・「めあて→振り返り」の学習サイクルを確立することで、本時の成果を自覚し、次時への課題をもつことができるようにする。 ・タブレットをさらに活用し、自ら調べたり友達と協働したりする機会を増やす。			